

## 花き初出荷

6月14日、芦別地区の高橋勝次郎さんがユリを6月15日滝川地区の土田光義さんと山田薫さんからデルフイニウムの出荷が始まりました。出荷は例年通り順調に出荷されました。



(左) 山田さん (右) 土田さん



高橋さん

## 芦別地区メロン初出荷

7月1日芦別地区の櫻田浩生さんが青肉52箱・赤肉38箱、計90箱を初出荷されました。4月・5月と低温、日照不足を乗り越えながらも16度と今年も出来は良好です。これから各生産者についても随時出荷となっていく予定です。



(中央) 櫻田さん

## トマト共選始まりました

6月23日からJ A たきかわトマト生産組合の共選作業が始まりました。

選果作業開始前に、組合長の上田智雄さんか「パートさんへ「作業事故に注意して目慣らししてしっかりと選果してください」との話がありました。選果は昨年同日の開始となり、当日は約120箱の原料を受入れし、出荷先は、滝川と札幌の市場から始まりましたが、今後は、物量の増加により関西圏の市場に向けて順次発送されていく事となります。



## 水稲直播研究会の現地ほ場巡回開催

7月13日、たきかわ農協水稲直播研究会(工藤正昭会長)の現地ほ場巡回が実施されました。工藤会長から「今年の生育状況は全体的に良いので、各自がこの研修を通じて出来秋に向けたポイントをつかんで欲しい」との挨拶がありました。

当会は、乾田直播と湛水直播双方の栽培技術について、追肥の必要性や管理のポイントを、空知農業改良普及センター中空知支所の平川普及員を講師に直接指導を受けました。

参加者からは「他者のほ場と比較することでポイントが良く分かる」との声も聞かれました。

